

2015年11月10日

公益社団法人 日本看護協会 広報部



11/17 (火) 看護小規模多機能型居宅介護事業者交流会

かんたき 「看多機」運営のノウハウ共有に向け初開催

公益社団法人日本看護協会(会長・坂本すが、会員70万人)は11月17日(火)に、「看護小規模多機能型居宅介護事業者交流会」を初めて開催します。

「看護小規模多機能型居宅介護」(略称:看多機(かんたき))は、看護職が中心となり、利用者に「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」の4つを一体的に提供できる介護保険制度上のサービスです。2012年に創設されて以来、「病院から在宅へ」という医療政策の方向性や地域包括ケアの概念にマッチしたサービスとして評価され、事業所数も増加傾向にあります。

こうした現状を受け本会では、「看多機」の事業者や開業・開設を目指す看護職、また普及促進の一翼を担う市町村の担当者などが一堂に会し、運営のノウハウや好事例を共有するとともに、関係者同士の顔の見えるネットワークづくりを目指し、このたび本交流会を開催します。

報道関係の皆さまには、本交流会をご取材いただくことで「看多機」の有用性をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介いただきますと幸いです。

開催概要

【日 時】11月17日(火) 13:30~16:45(受付開始 13:00)

【参加者】看護小規模多機能型居宅介護に携わる看護職など約100人

【プログラム】本リリース2頁をご覧ください

【取材申込み】本リリース3頁の取材申込書をFAXいただくか、同内容をEメールでお送りください。 ※申込期限:11月16日(月)15:00

【会 場】日本看護協会 JNA ホール(東京都渋谷区神宮前5-8-2)



<交通のご案内>

- JR 山手線「原宿」駅下車、表参道口 徒歩8分
- 東京メトロ 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅下車、A1出口徒歩5分
- 東京メトロ 千代田線・副都心線「明治神宮前(原宿)」駅下車、4番出口徒歩5分

「看護小規模多機能型居宅介護事業者交流会」プログラム

時間	プログラム
13:30~13:35	開会あいさつ 齋藤訓子（本会常任理事）
13:35~14:20	講演「看護小規模多機能型居宅介護サービスの概要と今後の展望」 猿渡央子氏（厚生労働省老健局老人保健課 看護専門官）
14:20~15:10	実践報告「看護小規模多機能型居宅介護事業の普及に向けた取り組み～東京都新宿区の取り組み～」 矢澤正人氏（新宿区健康部健康推進課健康企画・歯科保健担当 副参事） 細谷恵子氏（株式会社リープわいは 代表取締役）
15:10~15:30	休憩 ～交流タイム～
15:30~16:20	情報提供「おさえておきたい看多機運営Q&A」 堀川尚子（本会医療政策部 社会保険・調査研究担当専門職）
16:20~16:25	閉会あいさつ 齋藤訓子（本会常任理事）
16:25~16:45	～交流タイム～

看護小規模多機能型居宅介護〈看多機(かんたき)〉とは…

「看護小規模多機能型居宅介護」〈略称：看多機（かんたき）〉は、2012年の介護報酬改定の際に「複合型サービス」という名称で創設された地域密着型サービスの一形態です。医療依存度の高い人や退院直後で状態の不安定な人が、在宅で安心して暮らせるサービスとして、本会の提案で創設されました。15年の報酬改定で現名称への変更を経て、事業所数は全国で218を数えるまでになっています。

「看多機」の特徴は、下図のように、①通い、②泊まり、③訪問看護、④訪問介護を利用者の状態にあわせ、一体的かつフレキシブルに提供できる点にあります。利用料も定額（包括報酬）であることから、利用者も安心して状態にあった最適なケアを受けることができます。また、医療と生活の視点を持つ看護職が中心となることで、医療的ケアを必要とする人々にも対応することが可能です。



News Release 取材のお願い

報道関係者各位

2015年11月10日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

日本看護協会 広報部 行

FAX 03-5778-8478

またはEメール(koho@nurse.or.jp)でお送りください

<p>看護小規模多機能型居宅介護事業者交流会 取材申込書</p>

貴社名 _____

貴媒体名 _____

ご所属・部署 _____

お名前 _____

ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

Eメール _____

☆11月16日(月)15:00までにお申し込みください。

☆特段のご連絡がない場合は、直接会場へお越しください。

☆報道受付を設けておりますので、受付を済ませてご入場ください。